

ASAGOINGゼミ U-18 地域紹介文

生野生まれで生野高校に通うミキたちは、銀山で栄えた地元・生野町の歴史を学ぶフィールドワーク（現地学習）に出かけることになりました。町の人たちを訪ねて3つのキーポイントをめぐる、インタビュースるといふものです。ミキの目を通じてその時の様子をレポートした以下の文章を読んで、続く問題に答えてください。

プロローグ

ここは『生野銀山』で有名な生野町。わたしの生まれ育った町だ。かつては銀がたくさん採れ、鉱山町として栄えたらしい。でも、ずいぶん昔に銀山も閉じちゃって、その賑わいも過去のものになってしまった。知っているのはその程度だ。今日、わたしたちの班は、一日かけてこの町をフィールドワークして回る。

ただ正直、ちょっとめんどくさい。先生に行けと言われたから来たものの、歴史とかわたしにはあんまり関係ないし、興味もないもん。でも普通、高校生なんてそんなもんでしょ？自分の町の歴史なんか知ったって、受験にも就職にも使えないし、もったいえば人生に役立つわけでもないんだから。

風が吹くたび飛び散る桜の花びらが、髪や服にべたべたくっついて、うっとうしい。もう、こんなにたくさん桜ばかりいらなくて！散った後の掃除だったいへんなんだから、チューリップでも植えとけばいいのに！はあ、もうあれもこれも、ほんとに無駄なことばかりでうんざり。悪いけど、早く終わらせて早く帰ろつと……

問1 ①採れる（とれる）という言葉は、何を「とる」かによって使う漢字が異なります。

では、次のそれぞれの言葉における「とる」はどのような漢字を使うでしょうか。選択群の中から選んで答えてください。（知識問題）

〈選択群〉

(ア) 採 (イ) 取 (ウ) 執 (エ) 捕 (オ) 撮 (カ) 録 (キ) 撮

- (1) 泣きわめく子どもの機嫌を「とる」のは大変だ
- (2) 新しい映画を「とる」ことが決まった
- (3) あのテレビ番組、「とって」おいてくれない？
- (4) しっかり栄養を「とらない」と、体力が持たないぞ
- (5) ここからの指揮は、俺が「とる」！

問1				
(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

問2 ②「べたべた」のように、ものごとの様子を「音（おん）」であらわす言葉を「オノマトペ（擬声語）」といいます。例えば「ひらり」「どんどん」「ドカーン」「ワンワン」などもオノマトペです。オノマトペはとても便利な表現方法で、もしこれがないと、ものごとはとても回りくどい伝え方しかできなくなります。これをふまえて答えてください。

(1) 「ハンマーで何度も叩かれているような激しい頭の痛み」を、あなたの知っているオノマトペを使って言い換え、() を埋めてください。(知識問題)

頭が()と痛む

(2) 「べたべた」を、オノマトペを使わずに別の言葉で表現してください。

(表現問題)

問2	
(2)	(1)

問3 ③「あれもこれも」とは、具体的には何を指していますか？ミキが「無駄だ」と言っているものを、文中から探して、2つ挙げてください。(読解問題)

問3	

REPORT 1 生野書院

最初に訪れたのは『生野書院』。古いお屋敷を改装して作った、この町の郷土資料館なんだって。出迎えてくれたのは、小椋さんと山田さんという年配の男性たち。だいたい^④わたしのおじいちゃんくらいだ。小椋さんはもともと生野の生まれで、新幹線の運転士をしていたそう。定年を迎えてこの町に帰ってきて、今は生野書院の館長をしている。山田さんも生野の生まれで、この町の鉱山事業と深く関わりのあった三菱製作所に勤めた後、家業を継いで神主さんになった。なんと12代目だという。

書院の中の立派なお座敷に通されたわたしたち。二人とも、とっても優しくそんな笑顔を浮かべて「さあ、なんでも聞いて」と言ってくれるけど、正直特に聞きたいことなんてないし……とりあえず無難に「銀山の歴史を教えてください」と尋ねてみた。

お二人によると、諸説あるものの、ここで銀が見つかったのは大同2年（807

年）。^⑤文献に残る最も古い情報では、天文11年（1542年）に本格的な採掘が始まったらしい。その後は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康といった時の権力者たちがこぞつて直轄地にしたんだって。つまり大人気掘点だったわけだ。山田さんは冗談交じりにこう言った。「世界遺産になった石見（いわみ）銀山も有名やけど、生野はぜんぜん負けてへんで！幕府なんかを上納した銀の量なんて、生野のほうがだんぜん多いしな。言うたら、国を支えてたわけや。それに坑道の深さや長さなんて、石見の何倍も……」。小椋さんも横で、深く相槌を打っている。お二人とも、すごく負けず嫌いな「生野銀山愛」だ（笑）。

でも……知らなかったな。銀山の跡なんて、生まれた時から普通にあっただけど、^⑥自分にとって当たり前の存在だったものが、実はすごいものだって分かるのは、悪い気はしない。少しだけ興味が湧いてきたわたしは、銀山で町が栄えたころの様子を聞いてみた。

いま生野町の人口はだいたい4千人くらいだけど、江戸時代の最盛期には2万もの人が暮らしていたそう。鉱山での仕事を求めて、坑夫さんたちがどんどん移り住んできたからだ。今の白口（しらくち）集落のあたりに、ずらーっと家が並んで『白口千軒（しらくちせんげん）』と呼ばれたそう。^⑦町の産業は、何らかの形で銀山に関わるものが多かったから、庶民も含めてそれは町全体が豊かだったらしい。「捨て子をするなら生野」なんてことまで言われたとか。

時代が明治に移っても、その隆盛は衰ええなかったみたい。技術の近代化に伴い、フランスから招かれた技師やその家族が、大勢ここに住んでたんだって。町では、煉瓦敷きの西洋風な道路が作られ、そこでフランス人たちはギターを弾きながら歌い、スカートとパラソルをまとったご婦人が歩き、夫婦が手をつないでデートし、人前でキスをし……そんな毎日が日常だったそう。お互い仲も良かったようで、フランス人が日本の

着物を着てるなんてことも当たり前。神戸や横浜のような都会の貿易港ならまだ分かるけど、生野みたいな山奥でそれってすごくない？もう完全に国際都市だよ。なんか嬉しくなっちゃうな。ちなみに昭和に入ってから、近隣の町の人が「都会に出かける」というと、それは生野に行くことを意味していたという。

一緒に回っていた班の友達もだんだん興味が湧いてきたのか、こんなことを尋ねた。「でも、自分たちの町に外国人がたくさん住んでいるなんて、当時の日本人からすれば怖くなかったのかな？」。すると、笑いながら小椋さんが教えてくれた。そしてその答えは、わたしがこの町の良さに気づく大きなヒントとなる。「ずっと昔から銀山で栄えてきたからね。外からどんどん人が入ってくることに違和感がない。だからその人たちをもてなし、すぐ仲良くなることができるんや。この町の人は、代々そういうところがある」。

言われてみれば、そんな感じはする。これも当たり前すぎて、今まで意識もしなかつたけど。一般的に^⑧田舎の人ってどこか閉鎖的というか、外からやって来た人を「ヨソモノ」として警戒する気持ちが強いって言うけど、ここは逆に、外からの人や文化を歓迎する。個人的にはわたしもそのほうがいいし、それが当然だと思う。むしろなぜ警戒するのかよく分かんない。いいじゃん、みんなウエルカムで楽しければ——と考えたところでハツとした……もしかして、わたしもその気風を受け継いでる??

問4 ^④わたしのおじいちゃんくらいとは、何がおじいちゃんくらいなのでしょう。

(読解問題)

問4

問5 ^⑤文献に残るくだったわけだとありますが、なぜここまで権力者たちは銀を欲した

(銀山を治めようとした)のでしょうか。生野銀山と並んで有名な島根県の石見銀山などは、戦国大名らの間で激しい争奪戦が何度も起こっています。当時の時代背景などをヒントに、その理由を考えてみましょう。(知識問題 発想・意見問題)

問5

問6 ⑥ 自分にとって当たり前の存在だったものが、実はすごいものだったって分かるという部分をふまえて答えてください。

(1) これと近い状況で、「チルチルとミチルの兄妹が、幸せの象徴を探して長い旅に出るが、結局それは自分たちの最も近いところにあった」という物語の、メーテルリンク作の世界的童話のタイトルを答えてください。

(知識問題)

(2) あなたの身のまわりで、「自分にとっては当たり前だけど、客観的に見るととても価値のあるもの・こと」はどんなものがあるか、考えてみましょう。

(発想・意見問題)

(3) これとは異なり、「実は同じようなものなのに、他人のものの方が良く思えてしまう」状態を、ことわざで何と言うでしょう。

(知識問題)

問6 (1)	(2)	(3)

問7 ⑦ 町の産業は〜豊かだったとありますが、鉱山が儲かると町全体が豊かになるのはなぜですか？そのなる理由・仕組みの具体例を挙げてみましょう。(発想・意見問題)

問7

問8 ⑧ 田舎の人って〜警戒する気持ちが強いとありますが、なぜそのような傾向があるのだと思いますか。自分なりに考えてみましょう。(発想・意見問題)

問8

REPORT 2 生野まちづくり工房井筒屋

生野書院を後にしてから、わたしはかなり^⑤もやもやしていた。銀があまり採れなくなり、町がしだいに衰退していった話を最後に聞いたからだ。銀山は昭和48年に閉山、あれだけ華やかに栄えた町からどんどん人が出ていき、今に至る。そしてわたしたちは、そんな生野しか知らない。友達は言った。^⑥「閉山は残念なことやけど、良くも悪くも、町が銀山に頼りすぎていたんかもね……」。産業も人々の暮らしも銀山あつての生野だっただけに、それがなくなるといことは、極端にいえば「もう何も無い」ということになる。書院のお二人もこう言っていた。「今は『かつての銀山の町』ということで、観光で町を売り出そうとしている。それはいいけれど、もつと他にも、町を活気づける方法もあるんじゃないかと思うんや。銀山以外のこの町の魅力が」。

「他の魅力」って何だろう……わたしもその答えが見つからないまま、次に訪れたのは『生野まちづくり工房井筒屋』。ここはかつての銀山のひとつ、鶴林山の経営者・吉川家が営んでいた宿を改修して作られた。現在は、町づくり活動の拠点や、観光者の憩いの場として使われている。ここで出会った人たちに、わたしはさっきからの^⑤もやもやを晴らすヒントを与えてもらうことになる。

お話を伺ったのは、この町の住民のみなさん。それぞれ普段は自分の仕事を持ちながら、町の活性化のために活動している。そのひとつが『へいくろう祭り』という新しいお祭りの開催だ。「へいくろう」とは、かつて銀山で働いていた坑夫たちが「昼間からだらだらする」ことを「へいくろうする」と言っていたことにあやかって、「この日くらい、難しいことは抜きにして、みんな楽しんでもうよ」という願いを込めてつけられたらしい。銀山で働いていれば、明日には落盤で死んでしまうかもしれない。だから今、この日を楽しむことを大事にする、鉱山町ならではの考え方だとも教えてくれた。お祭りのことは知っていたけど、そんな想いがあったなんてぜんぜん知らなかったな……祭りの目玉は『全日本トロッコ・力自慢選手権大会』だ。実際の線路の上を人力でトロッコを引くこの大会は、いまやすっかり名物となり、全国から参加者が訪れる。そうか、^⑦「こついうところにも「生野人の血」が流れているんだ。

他にも有名なのは、『銀谷（かなや）のひな祭り』だ。生野を訪れた人に、井筒屋のようなスポットだけでなく町の様々ところを見てほしいと、各施設や家庭に開放をお願いして、それぞれが所有するひな人形を展示してもらうようにした。一部とはいえ見知らぬ人に自宅を開放するなんて、これもまた生野人らしいなあ。最初は4軒しかいなかった協力者もいまや150軒にまで広がり、遠方から見に来る人も多いという。

昔は、自分たちの活動をなかなか周りに理解してもらえなかったり、時には真つ向から反対されたり、仲間内で言い合いになったりもしたそうさ。でも、暗い雰囲気はまったくくない。「怒ったり、泣いたり、笑ったり、何のかんのと楽しかったよね〜」「そう

そう、あのときの○○さんだったら……」と、わたしたちそつちののけで⑩思い出話に花を咲かせて盛り上がり始めた。わたしの両親や、おじいちゃん、おばあちゃんくらいの年をした、大の大人がだ。なんだかいいな、こういう大人って。

でも、こんなこと、と言っては失礼だけど、町のために何かしたところでお金がもらえるわけではない。それまでわたしは、町を何とかするのは役場の仕事だと思っていたけど、この人たちは⑪そつは思っていないようだ。それについて尋ねると、役場の人がとても興味深い話をしてくれた。「かつてこの町は、すべてを銀山に依存しとった。そしてその銀山が閉じ、町に活気がなくなったとき、今度は行政に依存し始めたんよ。役場がなんとかしてよ、ってね。もちろんそれは無理もない話やし、町もできる限りのことはするけど、限界もある。必要だったのはその『依存体質』から抜け出すこと。自分たちで何とかする、『住民参加の町づくり』をすることやったんよ。それをこの人たちは、やってくれた。ほんますごいと思う」。

最後に、これからやってみたいことを聞いてみたら、「まだまだ町の全員に参加意識があるわけやないからね。少しでもそれが上がっていくとええよね」と。……そのとおりかもしれない、とちよつぱり反省した。わたしはこの人たちの話を聞いて「すごい」と思うばかりで、どこかまだ他人事だったような気がする。わたし自身、誰かに「してもらおう」ことばかり考えてる「依存体質」などがあったのかなあ、あかんなあ……そんな考えが、頭をめぐり始めていた。

問9 ミキが⑫もやもやしているのは、具体的には対して何でしょう。(読解問題)

問9

問10 「⑬」閉山は残念なことやけど、良くも悪くも、町が銀山に頼りすぎていたんかも

ね……」とありますが、もしあなたが当時の町の責任者だったとして、銀が取れなくなったら、どんな方法で町の産業や暮らしを守りますか。
(発想・意見問題)

問10

問11 ①「こういふところにも「生野人の血」が流れているで示している「生野人の血」とは、具体的にはどういふことですか。(読解問題)

問11

問12 ②「思い出話に花を咲かせてとは、次から次へと話題が出て盛り上がる様子を、花が咲き乱れることに例えた慣用句です。これにならって、あなたの知っている「花」を使った慣用句を挙げてみましょう。(知識問題)

問12

問13 ③「そうは思っていないようだとありますが、では町の人たちは「町を何とかする」のは、誰の仕事だと考えているのでしょうか。(読解問題)

問13

REPORT 3 口銀谷銀山町ミュージアムセンター

最後に訪ねたのは『口銀谷銀山町ミュージアムセンター』。井筒屋と同じく、旧邸を改装して町の④「コミュニティスポーツ」として使われている。ここでお話を聞いたのは、20代〜40代の若手住民たち。ずっと生野に暮らしている人もいれば、一度都会に出た後に帰ってきた人もいる。お仕事は、病院で看護助手をしている人、お好み焼き屋や石材店、美容院を営む人、役場の職員さんなどさまざまだ。彼らも町おこしに一役買っているそうで、何にも依存しない住民参加の町づくりを頑張っているのは、書院や井筒屋に集まった⑤「ベテラン」の人たちだけじゃないみたい。それもわたしは、まったく知らなかった。

彼らを取り組んだのは、衰退しかけていた生野の秋祭りの復活。それまでバラバラだった地区の青年会同士で交流を持つようにし、各所に働きかけて屋台が回れるようにした。他にも、芸術祭や新町河川公園まつりなども仕掛けているらんだって。へいくろう祭

祭りもそうだけど、「お祭りを作る」ってなんか面白そう！学校の文化祭やその準備もすごく楽しかったけど、あれと同じ感じなのかな？わたしはそれまで「町おこし」ってどこか小難しく考えてたけど、こんなやり方もあるんだ。だとしたら、なんかちよつと分かるかも！

そんな中で、印象的だった言葉がある。「僕らは、生野が鉱山町というイメージってあまりないんよね」。そうそう！これって、わたしと一緒に。書院での話を聞いて、確かにこの町に対する誇りは強くなった。でも彼らも、わたしたちも、鉱山で栄えたころを体験していない世代だ。それでも、「町を賑やかにしたい」という想いは脈々と彼らに引き継がれている。ただ、気になることもあるようで、あるメンバーの人は言った。「僕たちより若い世代の参加度合いが少し下がってる気がして、それがちよつと残念なんだよな」。確かに、今は良くてこの先はどうなるの？誰がこれを引き継いでいくの？わたしたちじゃないの？^⑦依存体質から抜け出すって、そういうことでもあるんじゃないかな。

一方で、こんな声も次々に聞かれた。「僕は職人だから、いまの活動を若い人たちに行動で示したい」「まずは町を『知る機会』をたくさん作ることちやうかな」「鉱山を知らない僕ら世代やけど、鉱山を忘れちゃいけない。いまの生野があるのは鉱山やお年寄りたちのおかげ。それを忘れずに新しいことにもチャレンジしたいね」「キミたちの世代に『学べ』とまでは言わない。でも、せめて町の魅力を『知って』欲しいな」「実は僕はね、町のために頑張る大人の存在を知って、それがとてもかっこよく見えてね。自分もそうなりたくて町役場に就職したんよ。もし我が子に仕事を聞かれたら『お父さんは町を守る仕事しているよ』と答えたいね」。

すてき！素直にそう感じた。そっか、まずは「知ること」。そこから、自分なりに身近なことを考えていけばいいんだ！そう考えていると、こんなことも言ってくれた。「キミたち、家庭科部なんやって？新聞で見たけど、昔の『か寿てら（カステラ）』を再現してイベントで売ったんやろ？『生野の何を知ればいいんだろう』『自分たちに何ができるかな』って思ってるかもしらんけど、もうやってるやん！」。

ハツとした。生野名物のひとつである『か寿てら』は、幕末の儒学者・池田草庵が生野に滞在したときに振舞われたことに由来している、とそのとき習った。当時は「ふーん」くらいにしか思わなかったけど、今なら分かる。これも「生野を知ること」だったんだ。そっか、それでいいんだ。そういうところから、わたしにも生野のためにできることがある、知らないうちにもうやっている、と分かって、なんだかとても嬉しかった。

——この町にはかつて鉱山があった。とつても華やかで豊かな時代もあった。そのこと自体も魅力だけど、わたしが思う魅力はちよつと違う。鉱山があったからこそ生まれた、町を愛する人たちの気持ちと、誰をも歓迎して迎え入れる気質。そしてそれが、鉱山がなくなっちゃった今も、脈々と続いていること。自分たちで町を創ること。^⑧中高生にだって、それができること。帰り道、そんなことを考えていた。早く帰りたいて思ってたは

ずなのに、日はすっかり暮れていた。ふと風が吹いて、桜の花びらがいつせいに舞った。街灯の光に照らされ、踊るようにきらきら、ひらひら瞬いている。何度も見てきたはずのその光景を、「きれい」と思ったのは生まれて初めてだった。

問14

④ コミュニティスポットとは、地域住民や旅行者などの憩いの場、交流の場として用いられる場所のことです。多くは、お土産物屋やカフェなどの形をとって運営されます。もしあなたが自分の町に新たなコミュニティスポットを作るなら、どんなもの（どんなことができる場）を作ってみたいですか。あなたの町の特徴を活かして、自由に考えてみてください。（発想・意見問題）

問14

問15

⑤ ベテランとは、経験豊かな人を指す意味で使われる外来語ですが、本来の英語では主に「退役軍人（かつて軍にいて、いまは辞めている人）」という意味で使われることが多いです。ではなぜ、「退役軍人」が「経験豊かな人」と訳されて使われるようになったのでしょうか。その流れを考えてみましょう。（知識問題 発想・意見問題）

問15

問16

⑥ 彼らとは誰のことを指していますか？（読解問題）

問16

